

Tokyo Japanese Academy「自己点検・自己評価」2021年4月～2022年3月

評価項目	評価
1.教育理念・目的等	
1-1. 理念・教育目標は定められているか	A
1-2. 育成人材像は明確か	A
1-3. 理念に基づく教育が行われているか	A
1-4. 理念と教育目標が、職員・生徒に周知されているか	B
2.学校運営	
2-1. 運営方針が明確化され、職員に周知されているか	A
2-2. 運営組織や意思決定機能が確立され、効率化しているか	B
2-3. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	B
2-4. 経理規程が明確であるか	A
2-5. 人事・労務管理規程が定められているか	A
3.財務	
3-1. 中長期的に学校の財政基盤は安定しているか	B
3-2. 予算・収支計画は有効かつ妥当か	A
3-3. 会計検査が適切に行われているか	A
4.教職員	
4-1. 校長、主任教員、教員は「日本語教育機関の告示基準」で定められた要件に適合しているか	A
4-2. 教育理念・教育目標が教員間で共有されているか	A
4-3. 教育目標を達成するための取り組みがされているか	B
4-4. 教職員の評価を行っているか	C
5.在留管理と生活指導	
5-1. 生活指導責任者及び入管事務担当者が特定され、学生に周知されているか	A
5-2. 入国・在留関係の管理・指導が適切に行われているか	A
5-3. 学生が母国と日本の文化の違いを理解するための指導やアドバイスが行われているか	A
5-4. 学生の出席状況の管理とフォロー体制が確立されているか	A
5-5. 我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	A
6.教育施設	
6-1. 教室、その他の施設は、「日本語教育機関の告示基準」に適合しているか	A
6-2. 全ての教室は照度、換気は十分に確保されているか	A
6-3. 全ての教室は必要な遮音性が確保されているか	A
7.教育活動	
7-1. 教育目標達成にむけた内容や進度であるか	B

7-2. カリキュラムは体系的に編成されているか	B
7-3. 教育内容・方法について教員間で共有しているか	A
7-4. 教育目標に適合した教材や機器が使用されているか	A
7-5. 学習理解の到達度の確認はなされているか、成績評価は適切か	A
7-6. 個別学習指導等の体制・指導が行われているか	B
7-7. 日本語試験の合格率向上のための指導体制は確立されているか	B
8. 学生支援	
8-1. 住居やアルバイト等、学生の生活環境への支援・助言等が行われているか	B
8-2. 学生の生活相談に関する体制は整備され、機能しているか	A
8-3. 進路指導担当者が特定され、学生に周知されているか	A
8-4. 進学・就職指導体制は整備され、機能しているか	A
8-5. 健康診断を定期的に行っているか	A
8-6. 学生の日常生活における心身の健康管理体制が整っているか	B
9. 学生の募集	
9-1. 学生の受け入れ方針は定まっているか	A
9-2. 方針は理念・教育目標に沿ったものか	A
9-3. 募集計画を定めているか	B
9-4. 募集活動は適切に行われているか。教育成果は正しく伝えられているか	A
9-5. 定員設定・在籍数は適正か	A
9-6. 入学選考は適正かつ公平な基準で行われているか	A
10. 教育の成果	
10-1. 日本語能力試験、日本留学試験等の結果を把握しているか	A
10-2. 進級、卒業判定が適切に行われているか	A
10-3. 学生の卒業後の進路を把握しているか	A
11. 法令の遵守	
11-1. 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A
11-2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
11-3. 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	A
11-4. 自己点検・自己評価結果を公開しているか	A
12. 安全・危機管理	
12-1. 対象となる学生全員が国民健康保険に加入しているか	A
12-2. 感染症発生時の措置を定めているか	A
12-3. 防災用品が備蓄されているか	B
12-4. 災害等に対する避難訓練を定期的に行っているか	A
12-5. 災害時の避難経路、方法、場所を定めているか	B

日本語能力習得状況の報告(2022年3月)

基準該当者合計数（実人数）：3名

	1年コース	1.6年コース	2年コース
a. 大学等への進学者の数			2
b. 入管法別表第一の一の表若しくは二の表の上欄の在留資格（外交、公用及び技能実習を除く。）への変更を許可された者の数			1
c. C E F RのA 2相当以上のレベルであることが試験その他の評価方法により証明されている者の数			